

平成25年7月5日
独立行政法人 防災科学技術研究所

『地震ハザードカルテ』を実験的に公開

～あなたの街の地震危険度診断～

独立行政法人防災科学技術研究所(略称:防災科研/NIED、理事長:岡田義光)は、7月8日、『地震ハザードカルテ』を実験的に公開します。

『地震ハザードカルテ』とは、各地点の地震ハザード情報をまとめたもので、任意の場所を検索してその場所に関する地震危険度の診断書を作成することができます。国により一元的に評価された地震ハザード情報の見せ方の一つとして、検討中のコンテンツを用いて実験的に開発したサービスで、健康診断の結果通知書のように地震の危険度を一覧表示することができます。

『地震ハザードカルテ』では、その場所がある一定期間に見舞われるであろう震度(5弱以上、5強以上、6弱以上、6強以上)に関する確率などの情報やその場所における地盤が軟弱であるか否かの情報などと、それらをまとめた総合評価の情報を閲覧することができます。

1. 住民の皆様にはワークショップや家庭で対策を進めるための道具として、
2. 保険・不動産などの事業者の皆様にはお客様向けのサービス資料として、
3. 教育関係者の皆様には地域の地震ハザード情報の見方を教える教材として、
4. IT関係者の皆様にはJ-SHIS Web APIのレスポンスを表現する一事例として、利用することで、地震の揺れの危険に対する認識を広めることが可能です。

1. 内容: 別紙資料による。
2. 本件配布先: 文部科学記者会, 科学記者会, 筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
災害リスク研究ユニット
藤原、東
電話: 029-863-7857 (あづま)
メールアドレス: azzie@bosai.go.jp

【発表に関する連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
三好、大石
電話: 029-863-7768
FAX: 029-851-1622

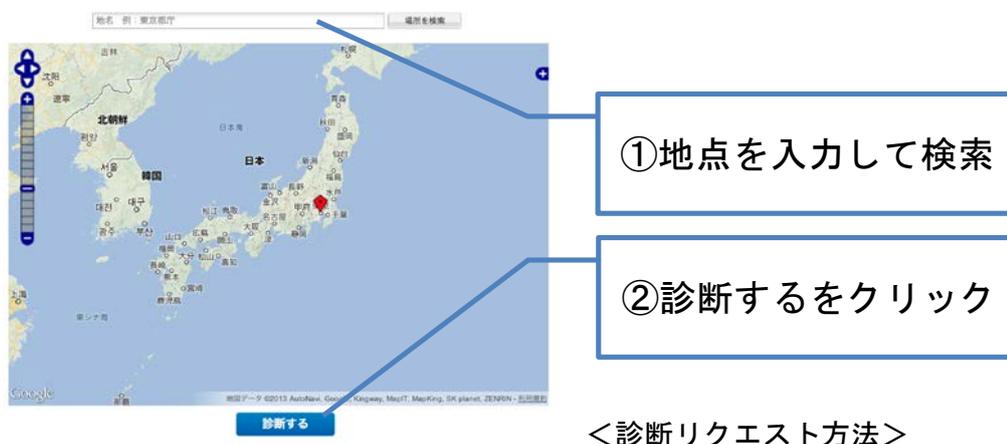
任意地点の地震ハザード情報を一覧表示するサービス 『地震ハザードカルテ』

『地震ハザードカルテ』概要紹介

地震ハザードカルテとは、各地点の地震ハザード情報をまとめたもので、任意の場所を検索してその場所に関する地震危険度の診断書を作成することができます。国により一元的に評価された地震ハザード情報の見せ方の一つとして、検討中のコンテンツを用いて実験的に開発しました。地震ハザードカルテは J-SHIS ラボ¹⁾ よりご利用いただけます。

■ 本サービスの機能

『地震ハザードカルテ』は、防災科学技術研究所の提供する全国地震ハザードの公開 API J-SHIS Web API (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/api-list>) を利用してレスポンス (返値) の結果を図やチャートを用いて表現し、A4 1 枚に出力して閲覧することを実現しています。



【結果を PDF で出力】

診断結果を PDF 形式でダウンロードし、プリンタ等で出力することができます。

■ 地震ハザードカルテ URL : <http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte>

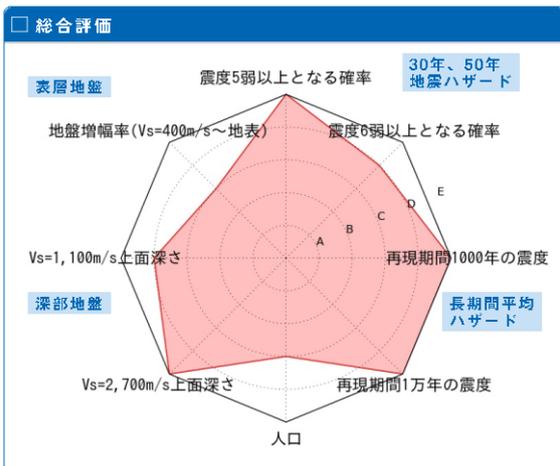
※このサービスは IT 関係者向けに API として現在無償で公開している J-SHIS Web API を使用して、情報を取得しています。

■ 今後の予定

『地震ハザードカルテ』は、地震ハザード情報の効果的な表現方法を具体事例により検証することを目的とし、確定版ではない地震ハザード評価結果を用いた取り組みです。今後より詳細なハザード情報、人や社会の情報も含めた地震リスクカルテ (仮称) 等を、確定版の地震ハザード評価データを元に提供することを目標としています

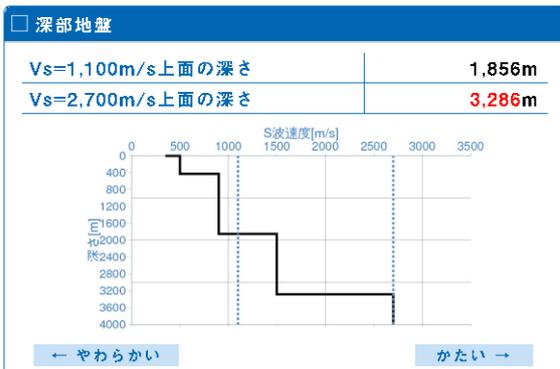
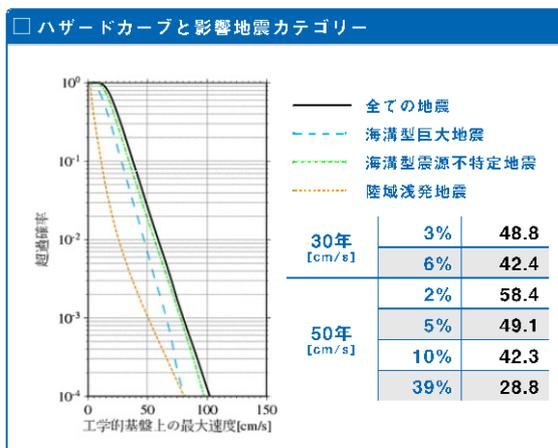
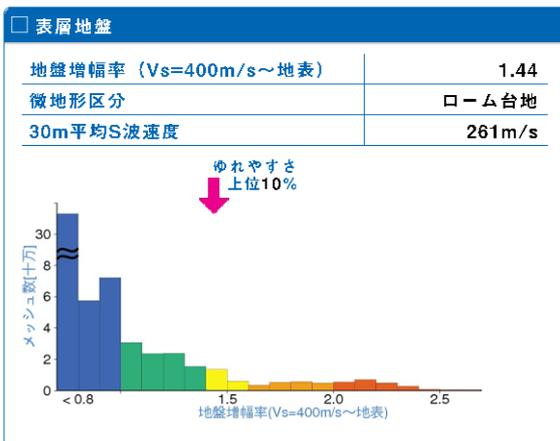
- 『地震ハザードカルテ』 結果サンプル -

	メッシュコード	中心緯度、経度	住所	標高	メッシュ内人口
	5339452523N	35.6865N, 139.6953E	東京都新宿区西新宿二丁目 付近	36m	50~100人



30年、50年地震ハザード

超過確率の値[%] 今後30年間にある震度以上の揺れに見舞われる確率の値です。	30年	震度5弱	99.9
		震度5強	85.2
		震度6弱	23.2
		震度6強	1.1
震度の値 今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる震度の値です。	30年	3%	6弱
		6%	6弱
	50年	2%	6強
		5%	6弱
地表の最大速度の値[cm/s] 今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる地表の最大速度の値です。	30年	3%	70.2
		6%	61.1
	50年	2%	84.0
		5%	70.7
		10%	60.9
		39%	41.4



長期間平均ハザード

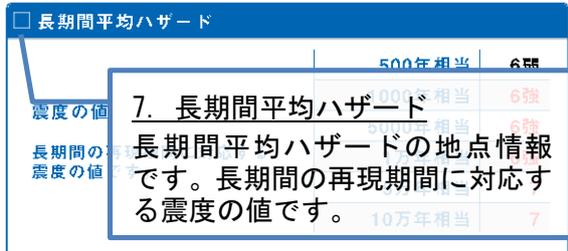
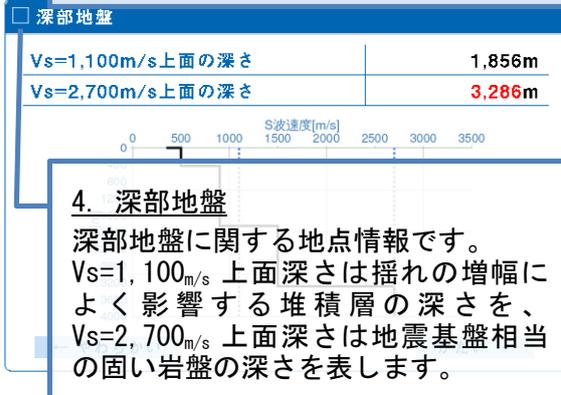
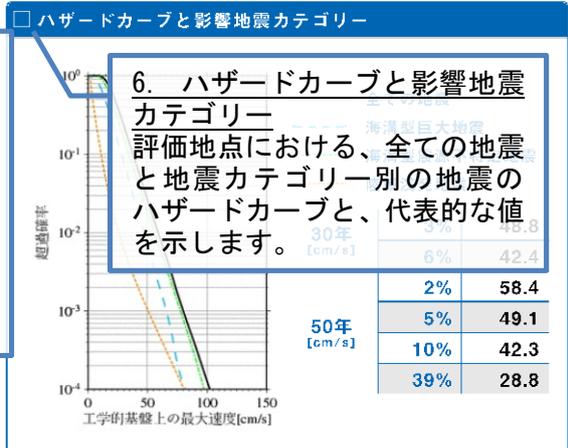
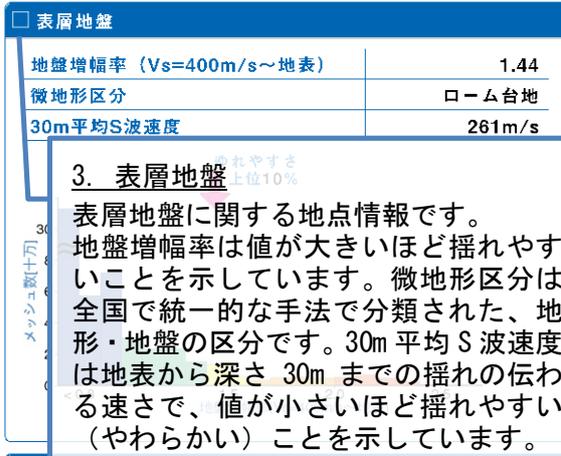
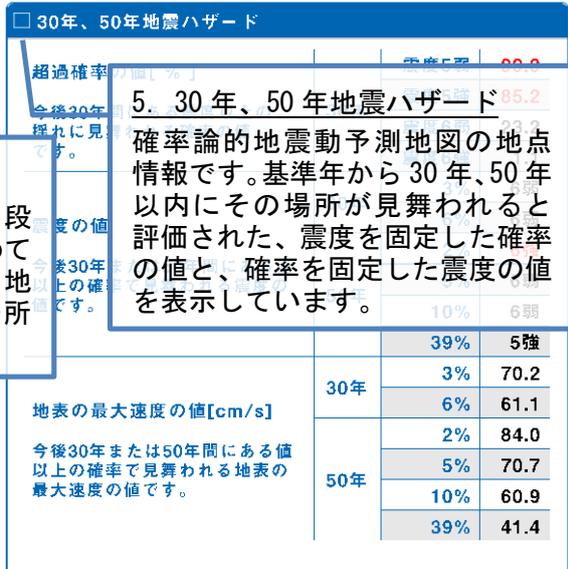
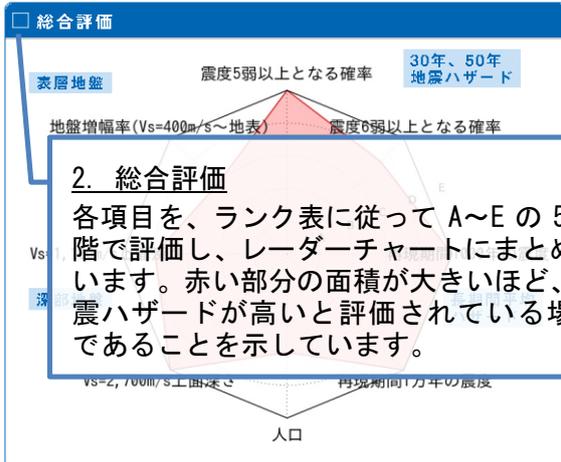
500年相当	6弱
1000年相当	6強
5000年相当	6強
1万年相当	6強
5万年相当	7
10万年相当	7

震度の値
長期間の再現期間に対応する震度の値です。

	メッシュコード	中心緯度、経度	住所
	5339452523N	35.6865N, 139.6953E	東京都新宿区西新宿

1. 評価地点情報

評価地点の位置や人口（メッシュ内の夜間人口）の情報です。



<備考>

総合評価レーダーチャートにおけるランク表

項目名/ランク	A 低め	B やや低め	C 中程度	D やや高め	E 高め
震度 5 弱/6 弱以上 となる確率	0.1%未満	0.1%以上 3% 未満	3%以上 6%未 満	6%以上 26% 未満	26%以上
再現期間 1000 年 /1 万年の震度	5 弱未満	5 弱以上	5 強以上	6 弱以上	6 強以上
人口	1 人未満	1 人以上 10 人未満	10 人以上 100 人未満	100 人以上 1000 人未満	1000 人以上
Vs=2,700 m/s 上面 深さ	300m 未満	300m 以上 1000m 未満	1000m 以上 2000m 未満	2000m 以上 3000m 未満	3000m 以上
Vs=1,100 m/s 上面 深さ	200m 未満	200m 以上 500m 未満	500m 以上 1000m 未満	1000m 以上 2000m 未満	2000m 以上
地盤増幅率	1.0 未満	1.0 以上 1.4 未満	1.4 以上 1.6 未満	1.6 以上 2.0 未満	2.0 以上

※注意：ランクが A などの場合でも、地震による危険がないことを示すものではありません。

<用語集・注釈>

1) J-SHIS ラボ (Labs)：地震ハザード評価に関する防災科研独自の試験的な取り組みの公開をおこなっている J-SHIS のサービスです。

全国地震動ハザード評価：本サービスで利用しているデータは、地震調査研究推進本部によって平成 24 年 12 月 21 日に公表された「今後の地震動ハザード評価に関する検討～2011 年・2012 年における検討結果～」において評価された暫定版の地震ハザード評価データです。

ハザードカーブ：ある地点に注目した場合の揺れの大きさを横軸に、超過確率を縦軸にとった関係を曲線で表したものです。確率論的地震ハザード情報の基本となるグラフです。

<参考文献>

藤原広行・河合伸一・森川信之・先名重樹・東 宏樹・大井昌弘・はお憲生・長谷川信介・前田宜浩・岩城麻子・若松加寿江・井元政二郎・奥村俊彦・松山尚典・成田 章, 2012, 東日本大震災を踏まえた地震ハザード評価の改良に向けた検討, 防災科学技術研究所研究報告, 第 379 号, 319-342.